



## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 27 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	間伐施業実施のための高性能林業機械(ハーベスタ1台、フォワーダ1台)を新規に導入する。
	成果(具体的に)
	高性能林業機械(ハーベスタ1台、フォワーダ1台)を計画どおり導入し、効率的な施業実施及び施業規模拡大を図る。

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	水源涵養、災害防止機能等森林が有する公的機能を維持するため、適切かつ健全な森林整備を行う必要がある。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	施業の高効率化・合理化を図るうえで導入する高性能林業機械は高額であり、林業事業者単独での導入は難しく、財政的な支援が必要である。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	20	20	①効率的である	高性能機械導入に際しては、入札等を行い適正な価格の確保を図っている。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	7	20	①緊急性が高い	森林が有する公的機能の維持及び適正かつ効率的な森林管理を行ううえで、高性能林業機械の導入は必要である。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	高性能林業機械(ハーベスタ1台、フォワーダ1台)を計画どおり導入した。今後、この機械を活用することにより森林施業の効率化・規模拡大等が図られる。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	73	事業の必要性、妥当性等各項目における成果があり、今後も適切かつ健全な森林整備を行ううえで事業を継続することは必要と考える。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	2	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	本事業は、林業事業者が取り組む木材加工流通施設やバイオマス利活用施設の整備等を支援し、強い林業・木材産業の構築、県産材の安定的・効率的な供給体制の構築を図るためのものであり、平成27年度は補助率10/10の交付金を活用して、町内事業者が行う間伐施業実施のための高性能林業機械の導入に対する助成を行っている。地域経済を大きく牽引するような民間企業が少ない本町において、意欲ある林業事業者に対して、国県支出金等を活用しながら財政的な支援を行うことは、町面積の大部分を占める山林を地域産業の強みとして活用するために、その必要性が認められるところである。今後も、国県支出金を活用しながら、木材産業の強化のための効果的かつ効率的な事業推進に努められたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所
	県補助等財源確保及び事業の継続と間伐材の利用促進
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか
	国に対する事業継続をしっかりと要望し、関係機関との協力・連携を行いながら、搬出間伐材の利用促進を図る。